

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公表番号】特表2005-503712(P2005-503712A)

【公表日】平成17年2月3日(2005.2.3)

【年通号数】公開・登録公報2005-005

【出願番号】特願2003-529659(P2003-529659)

【国際特許分類】

H 04 Q 7/38 (2006.01)

H 04 B 7/26 (2006.01)

【F I】

H 04 B 7/26 109M

H 04 B 7/26 C

【誤訳訂正書】

【提出日】平成18年11月2日(2006.11.2)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0022

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0022】

情報セグメントのセットを周期的に伝送することを含む通信を、受信し処理する方法においては、情報セグメントセットの各情報セグメントが有効か否かを識別するため、このような情報セグメントセットについて第1回目の传送が行われる。この第1回目の传送で传送された情報セグメントセットは、受信され処理される。そして、当該情報セグメントセットの情報セグメントのうち有効なセグメントが、ストアされる。この第1回目に传送された情報セグメントセットの情報セグメントが全て有効でなく、その結果、ストアされない場合には、その後に続いて、情報セグメントセットが传送される。その後に続いて传送された情報セグメントの情報セグメントのうち以前有効でなくその結果ストアされなかった情報セグメントに対応する情報セグメントのみが、これら受信された情報セグメントについて、有効か否かが識別するために、受信および処理がされる。そして、有効な情報セグメントがストアされる。以後、当該情報セグメントセットの全ての情報セグメントが有効と識別されストアされるまで、情報セグメントのセットのその後に続く传送が、繰り返し受信される。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0027

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0027】

ひとたびUE-BCEFがこのような判断を行うと、正しいTBはUE-BCEFによりストアされ(ステップ82)、紛失したTB、またはエラーのあるTBは、廃棄される(ステップ83)。ステップ83は、UE-BCEFを処理する前に、L1またはL2のいずれかにより同様にして実行されるから、このことに留意されたい。そして、RRC28は、エラーがあるか紛失するかした全てのTBの次のSFNを、次のRRC-SDUの传送について計算する(ステップ84)。図7の例においては、SFNの次のオカラヌス(本例では、74)を決定するため、UE-BCEFは、エラーのあったTB(SFN10)を、繰り返し期間すなわち64に加算することになる。幾つかのTBにエラーがある

こともあるが、このような場合には、エラーのあったTBのそれぞれのSFNが、その後のRRC-SDUの伝送について、計算される。ひとたびこれらSFNが決定されると、RRC28は、決定されたSFNのみを受信しデコードすることを、L1に通知する。この例では、再受信時には、SFN74に対応する1つのTBのみが識別される。ひとたびL1がこの計算されたSFNのあるTBを受信すると、L1は、RRC28から要求があった特定のSFNを有するTBとSFNとCRCとを、RRC28にホワーディングする(ステップ85)。再伝送され受信されたTBのセットにエラーが検出されず、かつ当該RRC-SDUからのTBを紛失していない場合には、UE-BCFEは、所定の場所に、これら正しいTBを他のTBとともにストアし(ステップ82)、RRC-SDUをデコードする(ステップ86)。受信されたRRC-SDUのTBに依然としてCRCエラーがある場合には、RRC28はこのようなSFNを判断し、上述した処理を繰り返す(ステップ84)。以後、当該RRC-SDUに関連付けされたTBのセット一式がUE-BCFEによりストアされ、RRC28により処理されるまで、この処理を継続する(ステップ86)。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0030

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0030】

さらに、本発明によれば、UE18がシステム情報をより効率的に受信することができるので、スケジューリングレート(すなわち、再送の周期)を減少させることが可能である。その結果、限りのあるBCHの物理的資源の効率が向上し利用率が高くなる。